

前回お答えいただいた質問（問1および2）を読んで、解説①をお読みください。

【シナリオ】

患者は30歳の女性で、全身的な既往に特記事項はありません。本日定期歯科健診で受診し、特に主訴はありません。これまでの6年間あなたの診療所に2年に一度定期健診の受診を続けています。写真に示す歯以外に処置歯やう蝕、および欠損歯が一本もありません。

問1. 下記の写真に示す歯に対してどのような治療を行いますか？もっともあてはまるものを選択してください（複数回答可）。「その他」を選択した場合は、具体的内容を記入してください。



Reprinted from Espelid et al, 1997

本日治療は行わず、定期歯科健診で経過観察する
フッ化物塗布を行う
フッ化物利用を勧める（フッ化物洗口、フッ化物含有歯磨剤など）
フッ化物を処方する
シーラントもしくはレジンで予防充填する
クロルヘキシジンを利用する
最小限の切削とシーラント
最小限の切削と予防的レジン充填（Preventive resin restoration）
エアアブレーションとシーラント
エアアブレーションと予防的なレジン充填（Preventive resin restoration）
アマルガム充填を行う
コンポジットレジン修復を行う
間接修復（インレー等）
その他（具体的に記入してください）

問2. 下記の写真に示す歯に対してどのような治療を行いますか？もっともあてはまるものを選択してください（複数回答可）。「その他」を選択した場合は、具体的内容を記入してください。



Reprinted from Espelid et al, 1997

本日治療は行わず、定期歯科健診で経過観察する
フッ化物塗布を行う
フッ化物利用を勧める（フッ化物洗口、フッ化物含有歯磨剤など）
フッ化物を処方する
シーラントもしくはレジンで予防充填する
クロルヘキシジンを利用する
最小限の切削とシーラント
最小限の切削と予防的レジン充填（Preventive resin restoration）
エアアブレーションとシーラント
エアアブレーションと予防的なレジン充填（Preventive resin restoration）
アマルガム充填を行う
コンポジットレジン修復を行う
間接修復（インレー等）
その他（具体的に記入してください）

解説①を読む

解説①を読んだ方はチェックして、「次へ」へ進んでください。

戻る

次へ

解説①のフィードバックをふまえて、以下の2問にご回答ください。

【シナリオ】

患者は30歳の女性で、全身的な既往に特記事項はありません。本日定期歯科健診で受診し、特に主訴はありません。これまでの6年間あなたの診療所に2年に一度定期健診の受診を続けています。写真に示す歯以外に処置歯やう蝕、および欠損歯が一本もありません。

問①、下記の写真に示す歯に対してどのような治療を行いますか？もっともあてはまるものを選択してください（複数回答可）。「その他」を選択した場合は、具体的内容を記入してください。



Reprinted from Espelid et al, 1997

<input type="checkbox"/>	本日治療は行わず、定期歯科健診で経過観察する
<input type="checkbox"/>	フッ化物塗布を行う
<input type="checkbox"/>	フッ化物利用を勧める（フッ化物洗口、フッ化物含有歯磨剤など）
<input type="checkbox"/>	フッ化物を処方する
<input type="checkbox"/>	シーラントもしくはレジンで予防充填する
<input type="checkbox"/>	クロルヘキシジンを利用する
<input type="checkbox"/>	最小限の切削とシーラント
<input type="checkbox"/>	最小限の切削と予防的レジン充填（Preventive resin restoration）
<input type="checkbox"/>	エアアブレーションとシーラント
<input type="checkbox"/>	エアアブレーションと予防的なレジン充填（Preventive resin restoration）
<input type="checkbox"/>	アマルガム充填を行う
<input type="checkbox"/>	コンポジットレジン修復を行う
<input type="checkbox"/>	間接修復（インレー等）
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に記入してください） <input type="text"/>

問②. 下記の写真に示す歯に対してどのような治療を行いますか？もっともあてはまるものを選択してください（複数回答可）。「その他」を選択した場合は、具体的内容を記入してください。



Reprinted from Espelid et al, 1997

<input checked="" type="checkbox"/>	本日治療は行わず、定期歯科健診で経過観察する
<input type="checkbox"/>	フッ化物塗布を行う
<input type="checkbox"/>	フッ化物利用を勧める（フッ化物洗口、フッ化物含有歯磨剤など）
<input type="checkbox"/>	フッ化物を処方する
<input type="checkbox"/>	シーラントもしくはレジンで予防充填する
<input type="checkbox"/>	クロルヘキシジンを利用する
<input type="checkbox"/>	最小限の切削とシーラント
<input type="checkbox"/>	最小限の切削と予防的レジン充填（Preventive resin restoration）
<input type="checkbox"/>	エアアブレーションとシーラント
<input type="checkbox"/>	エアアブレーションと予防的なレジン充填（Preventive resin restoration）
<input type="checkbox"/>	アマルガム充填を行う
<input type="checkbox"/>	コンポジットレジン修復を行う
<input type="checkbox"/>	間接修復（インレー等）
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に記入してください） <input type="text"/>

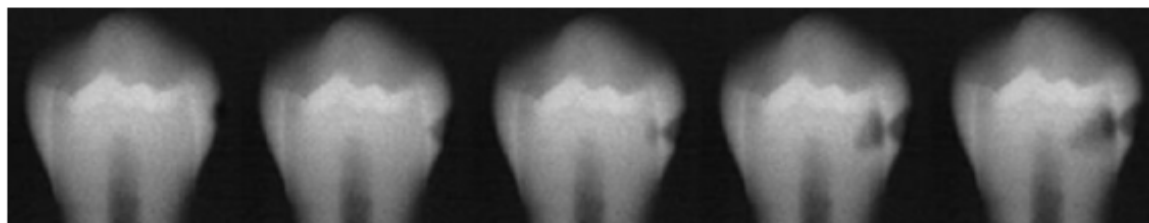
戻る

次へ

前回お答えいただいた質問（問3）を読んで、解説②をお読みください。

【シナリオ】

患者は30歳の女性で、全身的な既往に特記事項はありません。患者は本日定期歯科健診で受診し、特に主訴はありません。これまでの6年間あなたの診療所に定期歯科健診の受診を続けています。写真に示す歯のほかには、処置歯やう蝕、および欠損歯が一本もありません。



症例 1

症例 2

症例 3

症例 4

症例 5

Espeid et alより

問3. う蝕の深さがどの段階になると、予防的な処置から永久的な修復処置（コンポジットレジンなど）に移行するのが良いと思いますか？5つの写真を見てもっともあてはまるものを1つ選んでください。

症例 1

症例 2

症例 3

症例 4

症例 5

解説②を読む

解説②を読んだ方はチェックして、「次へ」へ進んでください。

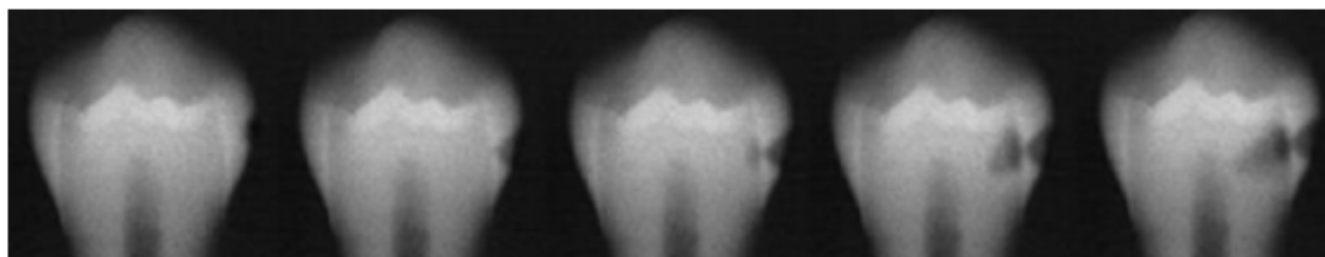
戻る

次へ

解説②のフィードバックをふまえて、以下の質問にご回答ください。

**【シナリオ】**

患者は30歳の女性で、全身的な既往に特記事項はありません。患者は本日定期歯科健診で受診し、特に主訴はありません。これまでの6年間あなたの診療所に定期歯科健診の受診を続けています。写真に示す歯のほかには、処置歯やう蝕、および欠損歯が一本もありません。



症例 1

症例 2

症例 3

症例 4

症例 5

Espelid et alより

問③. う蝕の深さがどの段階になると、予防的な処置から永久的な修復処置（コンポジットレジンなど）に移行するのが良いと思いますか？5つの写真を見てもっともあてはまるものを1つ選んでください。

<input type="radio"/>	症例 1
<input checked="" type="radio"/>	症例 2
<input type="radio"/>	症例 3
<input checked="" type="radio"/>	症例 4
<input type="radio"/>	症例 5

戻る

次へ

前回お答えいただいた質問（問4）を読んで、解説③をお読みください。

【シナリオ】

患者は30歳女性で、全身的な既往に特記事項はありません。患者は本日定期歯科健診で受診し、特に主訴はありません。これまでの6年間あなたの診療所に2年に一度定期歯科健診の受診を続けています。患者は写真（図1）に示す箇所以外に修復物、う蝕および欠損歯は一本もありません。



Reprinted from Mjor and Toffenetli, 2000

図1

問4. 写真（図1）に示す修復箇所に対してあなたはどのような治療を行いますか？

本日治療は行わず、定期歯科健診で経過観察する

修復物の研磨、表面の修復もしくは修理を行うが、修復物全体は交換しない

修復物全体を交換する

その他の治療（具体的に記入してください）

解説③を読む

解説③を読んだ方はチェックして、「次へ」へ進んでください。

戻る

次へ

解説③のフィードバックをふまえて、以下の質問にご回答ください。

【シナリオ】  
患者は30歳女性で、全身的な既往に特記事項はありません。患者は本日定期歯科健診で受診し、特に主訴はありません。これまでの6年間あなたの診療所に2年に一度定期歯科健診の受診を続けています。患者は写真（図1）に示す箇所以外に修復物、う蝕および欠損歯は一本もありません。



Reprinted from Mjor and Toffenetli, 2000

図1

問④. 写真（図1）に示す修復箇所に対してあなたはどのような治療を行いますか？

- 本日治療は行わず、定期歯科健診で経過観察する
- 修復物の研磨、表面の修復もしくは修理を行うが、修復物全体は交換しない
- 修復物全体を交換する
- その他の治療（具体的に記入してください）

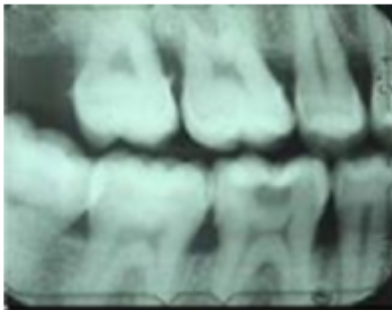
戻る

次へ



前回お答えいただいた質問（問5）を読んで、解説④をお読みください。

【深在性う蝕患者のシナリオ】  
患者は25歳の男性で、右下6番の中心窩に肉眼所見で象牙質に及ぶ窩がみられる。歯髄診断用歯牙冷却材（例：パルパー®）に対しては持続的な痛みがあり、持続時間は3秒以内であった。右下6番以外には2歯面にエナメル質う蝕が認められた。右下6番の咬翼法によるX線所見は以下の通りである。



Reprinted from Practice Impact Questionnaire with permission

問5. 右下6番のう蝕を除去していくと、予想以上にう蝕部位は深く、近心頬側の髄角に到達しているかもしれないと判断しました。その時、あなたは普段どのようにしますか。

全てのう蝕病巣が無くなるまで除去し続ける。

髄角付近のう蝕病巣の除去は行わず、周辺の除去にとどめる。

歯内療法をおこなう、もしくは専門医に紹介する。

解説④を読む

解説④を読んだ方はチェックして、「次へ」へ進んでください。

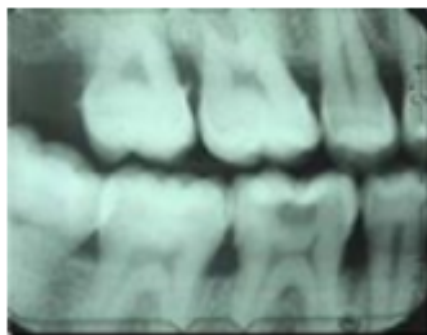
戻る

次へ

解説④のフィードバックをふまえて、以下の質問にご回答ください。

【深在性う蝕患者のシナリオ】

患者は25歳の男性で、右下6番の中心窩に肉眼所見で象牙質に及ぶ窩がみられる。歯髄診断用歯牙冷却材（例：パルパー®）に対しては持続的な痛みがあり、持続時間は3秒以内であった。右下6番以外には2歯面にエナメル質う蝕が認められた。右下6番の咬翼法によるX線所見は以下の通りである。



Reprinted from Practice Impact Questionnaire with permission

問⑤. 右下6番のう蝕を除去していくと、予想以上にう蝕部位は深く、近心頬側の髄角に到達しているかもしれないと判断しました。その時、あなたはどのようにしますか。

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> | 全てのう蝕病巣が無くなるまで除去し続ける。        |
| <input type="radio"/> | 髄角付近のう蝕病巣の除去は行わず、周辺の除去にとどめる。 |
| <input type="radio"/> | 歯内療法をおこなう、もしくは専門医に紹介する。      |

戻る

次へ

前回お答えいただいた質問（問6）を読んで、解説⑤をお読みください。

問6. あなたは何らかの方法で患者ごとのカリエスリスク（う蝕活動性）を評価しますか？

はい

いいえ

解説⑤を読む

解説⑤を読んだ方はチェックして、「次へ」へ進んでください。

戻る

次へ

解説⑤のフィードバックをふまえて、以下の質問にご回答ください。

問⑥. あなたは何らかの方法で患者ごとのカリエスリスク（う蝕活動性）を評価しますか？

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

戻る

次へ

最後に、今回のフィードバックに関して6つの質問にご回答ください。

1) 日本全体の調査結果のフィードバックはご自身の日常診療に役に立つと思いますか？

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

2) 日米国際比較の結果のフィードバックはご自身の日常診療に役に立つと思いますか？

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

3) 調査結果のフィードバックを受けて、日常診療の中で何か変えてみようと思うことはありましたか？

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

4) 今回の一連の調査では余剰の診断・治療における最新のエビデンスと実際の診療との間に乖離（ギャップ）があることが示されました。このギャップは「エビデンスー診療ギャップ」と呼ばれていますが、なぜこのようなギャップが生じると思われますか？下記に自由に記載してください。

エビデンスー診療ギャップが生じる理由

<div style="height: 150px;"></div>
------------------------------------

戻る

次へ

5) 今回の一連の調査で示されたエビデンス—診療ギャップを改善するためには、どのようなことを歯科医療ならびに大学での歯学教育に求めますか？当てはまるものを選択してください。（複数回答可）

<input type="checkbox"/>	日本語で最新のエビデンスを入手できる機会の増加
<input type="checkbox"/>	診療ガイドラインの臨床現場への普及
<input type="checkbox"/>	エビデンスを確立するための臨床研究の充実
<input type="checkbox"/>	エビデンスに基づく保険制度の見直し
<input type="checkbox"/>	大学卒業後の生涯教育の充実
<input type="checkbox"/>	大学におけるEBD（Evidence-Based Dentistry）教育の充実
<input type="checkbox"/>	英語論文を読むための歯学英语教育の充実
<input type="checkbox"/>	大学におけるMI（最小限の侵襲）に関する教育
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に） <input type="text"/>

6) 実際のう蝕治療の際に、エビデンスやガイドラインの推奨に基づいてMIを行うことが難しい場面はありますか？

<input type="radio"/>	はい（どのような場面が具体的にお書きください） <input type="text"/>
<input type="radio"/>	いいえ